

第20回離島対策等検討会 議事録

1. 日時 2011年11月29日(火)10時00分～11時30分
2. 場所 日本自動車会館11階
公益財団法人自動車リサイクル促進センター 第2会議室
3. 出席者 藤井座長、渡邊委員
公益財団法人自動車リサイクル促進センター 再資源化支援部
経済産業省・環境省担当官
4. 議題
 1. 2012年度離島対策等支援事業 事業計画(案)
 2. 2011年度支援活動等報告
 3. 離島対策支援事業要綱等の改訂について

5. 会議の概要

(再資源化支援部)

議題1. 2012年度離島対策等支援事業 事業計画(案)について説明。

(委員)

前々回の離島対策等検討会において、予算の執行率を改善するため、市町村の計画精度の向上に資する支援活動を行うとともに、計画の精度が上がらない場合は、再資源化支援部にて事業費予算の調整を行うとの報告を受けたが、調整を実施したか確認したい。

(再資源化支援部)

報告にもあるとおり、2012年度の事業計画策定時において、再資源化支援部は市町村に対し積極的に情報提供や助言を行った。その結果、要請金額の執行率の見通しに大幅な改善が見られたことから、再資源化支援部での調整は実施していない。

(委員)

事業は、経年で見て定常状態にあると言えるか。

事業が概ね定常状態にあるとすると、経済が悪化傾向にあるため、これから事業が離島において機能するかを試される時期となるのではないか。

(再資源化支援部)

経年の申請実績から、事業全体としては定常状態にあると考えている。ただし、市町村別に見ると活用率にバラツキがあり、今後は、活用率の低い市町村に対する中核事業者の育成支援や、小規模離島市町村における事業認知度の向上策を実施することで、活用率の平準化、安定化を図っていく。

(委員)

離島における事業について東日本大震災の影響はあるか。

(再資源化支援部)

一部の市町村からは、震災後の瓦礫等の撤去の支援に注力する事業者からの申請が遅れているとの報告がある。

(委員)

議題1. については、資料の一部の文言について修正することを前提に承認する。

(再資源化支援部)

議題2. 2011年度支援活動等報告について説明。

(委員)

受付業務確認検査に関する報告については、事業開始後の時間が経っていることから、市町村担当者の規律が緩んできたという感じが否めない。この制度においては、市町村が自らの事業として責任をもって運用すべきものである。また、再資源化支援部は、市町村担当者に対する啓発活動について、更なる強化に努められたい。

(再資源化支援部)

再資源化支援部は、事業における市町村の役割が果たされるよう、市町村担当者に対する啓発活動を通じ、実務に関するレベルを維持していく。

(委員)

議題2. については、原案通りで了承する。

(再資源化支援部)

議題3. 離島対策支援事業要綱等の改訂について説明。

(委員)

議題3. については、今般の運用変更等を反映した改訂であり、全体として内容は承認する。ただし、一部の表現について文言の修正をされたい。

(再資源化支援部)

要綱及び手引書は、再資源化支援部にて12月中旬までに各委員の意見集約を図り、修正のうえ、各委員の了承を得て公開する。

以上